

2011年度

科目名	現代社会と人権(総合講座)A			
担当教員	金井 英樹			
配当	文 2・教育2・人間2		コード	53033
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数 2
授業テーマ	現代社会における人権の諸相と私たち			
目的と概要	現代社会における差別の現実を具体的にとりあげて、そこから深く学ぶことを追究する。また、人権を尊重するとはどういうことなのか、私たちの生きる時代を＜人権の世紀＞にするための方途をともに学ぼう。			
成績評価法	基本的にレポートの成果(70%)と、平常点(30%)によって評価する。 授業時のレポートや毎時提出のコミュニケーション・ペーパーも平常点として参考にする。			
テキスト	特に指定しない。			
参考書	参考文献は授業で紹介する。			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	＜学び＞に対して真摯であること。			
講義計画				
1、はじめに	授業の進め方、何をどう学ぶか、レポートについて、意識調査。			
2、現代社会と差別Ⅰ	現代社会と差別の諸相を考える。			
3、現代社会と差別Ⅱ	現代の人権とは何か。			
4、日本社会と部落問題Ⅰ	部落史観の転換とは何か。			
5、日本社会と部落問題Ⅱ	部落の形成史に迫る。			
6、日本社会と部落問題Ⅲ	差別観念と共同幻想の解析。			
7、日本社会と部落問題Ⅳ	近代の問題としての部落問題。			
8、日本社会と部落問題Ⅴ	戦後の部落解放運動。			
9、沖縄とアイヌ	南北の異なる文化圏の歴史と現状。			
10、反差別の運動Ⅰ	差別と闘った人たちに学ぶ。			
11、反差別の運動Ⅱ	反差別の文学、音楽表現等。			
12、反差別の運動Ⅲ	映画と人権、自由学校等。			
13、裁判と人権	冤罪事件と犯罪報道、名誉回復。			
14、戦争と差別	最大の人権侵害と環境破壊。			
15、外国人の人権	日本社会の排外意識と現状。			